

校長室だより

第4号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和7年6月17日（火）発行

○3年生修学旅行

先週6月11日（水）～13日（金）にかけて、3年生は長崎方面に修学旅行に行ってきました。天気予報では3日間とも雨ということで、活動内容の変更もやむなしかと思っていたのですが、なぜか奇跡的に生徒たちが屋外で活動する時にだけ雨が止み、79期生の運の強さを感じずにはいられませんでした。そして参加者全員が怪我や大きく体調を崩すことなく、元気に全行程を終えることができ本当に良かったと思います。

それでは、この場を借りて3日間を振り返ってみます。

（1日目）

生徒集合は早朝午前6時、眠い目をこすりながらの集合となりました。体育館で出発式をした後、バスに乗り込み新大阪駅に向かいました。新大阪駅でしばらく待機してから新幹線に乗りました。生徒たちはバスの中ではまだ眠そうな様子でしたが、新幹線の中ではお菓子の時間もあるということで、いつもの元気が見られました。博多駅に到着し、バスに乗り換えて長崎方面に向かいました。途中の大村湾サービスエリアでは、美しい海辺の景色を見ながら昼食をとりました。長崎に到着するとそのまま原爆資料館に入り、被爆体験の聞き取り学習を行いました。語り部の三瀬さんは、二度と戦争という惨事が起きないよう、相手とよく話し合い、コミュニケーションを大事にして様々な課題を解決するようにしてほしいとお話されました。生徒たちは真剣にそのメッセージを受けとめていたように思います。その後、班ごとに原爆資料館内の見学をして、浦上地区にある原爆に関わる史跡を巡りました。時間どおりにゴールに集まり、平和祈念像の前で記念撮影をしてホテルに向かいました。ホテルに着いたらすぐに夕食の時間でした。長崎名物の卓袱（しっぽく）料理を中心としたメニューに舌鼓を打ちました。食後は入浴を済ませ、まずクラスミーティングで聞き取り学習やフィールドワークの振り返りをしました。続く学年ミーティングでは、平和セレモニーとして平和委員による平和宣言に続き、全員で平和のために黙とうを捧げました。緊張感があり一日を締めくくりにふさわしいひと時でした。その後は就寝準備をし、午後10時30分に消灯して1日目の行程を終えました。



（2日目）

前日に続き午前6時という早い起床時間でしたが、生徒たちは時間どおりに起きて出発準備を済ませ、朝食をとりました。食後は退館式を終えバスに乗り込み、班ごとに分かれて長崎市内フィールドワークに出発しました。異国情緒あふれる長崎の町を班の仲間と歩いたり市電に乗ったりしながら散策し、昼食は中華街などで事前に決めておいたお店でとりました。出店で売っている角煮まんや小籠包

などを立って食べるケースも多かったのですが、とてもマナーが良かったことに感心しました。昼過ぎにバスの駐車場に全員が集まり、民泊先である西海市に向けて移動しました。午後2時30分に西海スポーツガーデンにて入村式を行い、民泊先の方々と顔合わせをしました。初めて出会う人たちのお宅に1泊お世話になるということで、生徒たちは緊張した顔つきで30カ所の家庭に分かれていきました。日が暮れた頃、教員の宿舎の前に民泊先の方と散歩に訪れた生徒たちがいたのですが、数時間前とは打って変わってリラックスした表情をしており安心しました。



（3日目）

生徒たちは民泊先で朝食を済ませ、午前9時45分に西海スポーツガーデンに再び集合しました。感想を尋ねると、花火をしたり、蛍を見に行ったり、カラオケをしたり、バラのお風呂に入れてもらったりと、まるで家族の一員のように過ごさせていただいたようでした。民泊先の方々からは「本当にいい子たちですね」「もう帰したくありません」「うちの子にしたいです」などのお言葉をいただき、初めて出会った方々にも愛され可愛がられる生徒たちを誇りに思いました。離村式の後には別れを惜しんで涙している生徒もいる中、バスに乗り博多方面に向けて出発しました。バスの中では学年で作ったDVDが放映され、特技披露やコントなどで大いに楽しませてくれました。正午過ぎ、はねや総本家にて昼食を済ませ、お土産を購入する時間をとりました。辛子明太子など長崎とはまたちがったお土産を各々が買っていました。買い物の後はバスで博多駅に行き、午後3時27分発の新幹線に乗車しました。生徒たちは疲れていると思っていましたが、車内ではお菓子を食べたりカードゲーム等に興じるなど往路と変わらず元気に過ごしていました。新大阪駅での下車時間については、行程表の誤りを生徒たちが見つけ、自分たちで早めに降りる準備を進めており、成長が感じられて嬉しかったです。そして午後6時前に新大阪駅に到着し、そこからバスに乗り換え、7時頃に帰校して全行程を終了しました。

3日間をととして、生徒たちが学年目標としたSET（Study：学ぶ、Enjoy：楽しむ、Time：時間を守る）を意識して行動する場面は日を追うごとに見られ、義務教育最後の宿泊学習を締めくくりにふさわしい行事になったように思います。持ち物違反が全くなかったことも素晴らしいかったです。ただ大事なのはこれからどう過ごすかということです。修学旅行でできたということは普段の生活でもできるということです。もっと言えば、今回の修学旅行における課題を明確にし、よりよい集団の在り方について考えを深め、その改善のために主体的に行動できるようになってほしいと思います。それこそが本当の修学旅行の成果と言えるのではないのでしょうか。この後の学校生活は進路決定に向けてしんどいことも多くなりますが、修学旅行をととして深まったチームワークの良さを生かして、79期生みんなで乗り越えていってほしいと思います。

3日間本当にお疲れさまでした。